

令和元年度事業計画

新たな時代が始まった令和元年度、当会はより一層の会員サービスの充実に努めると共に、マグネシウム産業成長のため、以下の事業活動の推進に努める。

事業計画 1. 日本マグネシウム協会会員拡充及び会員サービスの充実に関する活動

実施内容①：会員向け情報配信の充実

- ・ホームページ、機関誌、メールマガジン「マグネシウム通信」の内容充実。
- ・IMA News 等の海外情報提供の充実。

実施内容②：会員相互交流の活発化

- ・新年会員懇談会、会員情報交流会等の実施。

実施内容③：会員の増加対策

- ・HP、報道、展示会等を活用した協会の PR 活動の促進。
- ・関西支部を新設し、支部（関西、九州）における技術研究、技術交流活動の実施。

事業計画 2. マグネシウム市場開拓・技術開発に関する活動

実施内容①：輸送機器分野、新規分野等へのマグネシウム合金適用へ向けた技術開発

- ・自動車部品へのマグネシウム適用拡大のための検討。[自動車 Mg 展伸材適用検討委員会]
- ・鉄道車両の大型部材マグネ化実現のための検討。[マグネシウム合金高速車両構体実用化技術委員会]
- ・マグネシウム電池普及のための検討。[マグネシウム電池普及委員会]
- ・医療分野等へのマグネ実用化のための調査。

実施内容②：マグネシウム産業界の指針となる産業ビジョン、技術ロードマップの維持及び更新

- ・マグネシウム産業界のビジョン等について検討。[将来ビジョン検討会]

実施内容③：材料・鋳造・成形・切削・接合・表面処理に関する調査研究および基礎データの収集・整備

- ・暴露試験結果の取りまとめと結果の公表。[表面処理分科会]
- ・接合、溶接に関する課題抽出、基礎データの整備、溶接実技講習会の実施。[接合技術分科会、マグネシウム溶接技術普及委員会]
- ・各技術分科会等で研究課題の抽出及び調査の実施。

実施内容④：製錬技術の研究及びリサイクルシステムの構築、LCA データの普及

- ・マグネシウムの供給安定化に向けた対応策の検討と提言。[地金原料部会]
- ・製錬技術の研究。[マグネシウム製錬研究会]

事業計画 3. 環境問題・安全対策などに対する対応

実施内容①：安全作業の啓蒙

- ・安全作業のマニュアル整備、事故例調査、講習会等による安全指導の実施。[安全管理委員会]
- ・労働安全企業の表彰、認定制度の実施。
- ・新たなマグネシウム用消火器の検討。[消火器開発委員会]

実施内容②：難燃性マグネシウム材料の汎用化

- ・難燃性合金による素材開発・加工条件の確立及び標準化の検討。
- ・燃焼性のデータ整備の検討。[燃焼 WG]

実施内容③：SF₆ ガス削減対策と代替カバーガス普及の促推

- ・防燃ガス使用量調査による実態把握。

事業計画4. 規格・標準化の整備に関する活動

実施内容①：国内審議団体として ISO 規格へ対応

- ・マグネシウムに関する ISO 国内審議委員会を運営。
- ・日本提案規格（水銀分析法、すず分析方法、ベリリウム分析法、酸素量評価法、希土類元素（Y、Gd、Ce）分析方法）の ISO 化への対応。
- ・その他の各種提案への対応（ISO3116（展伸材）、ISO26202（犠牲陽極材）など）。
- ・ISO/TC79 及び ISO/TC79/SC5 国際会議への出席。（11月・シカゴ）

実施内容②：JIS 及び ISO 規格制定・改正への対応

- ・JIS H 4205「マグネシウム合金鍛造品」の改正版の発刊。
- ・日本規格協会の公募制度による、JIS H 2222「ダイカスト用マグネシウム合金地金」、JIS H 5303「マグネシウム合金ダイカスト」の改正原案作成。[ダイカスト JIS 規格原案作成委員会]
- ・省エネルギー等国際標準開発事業による、マグネシウム合金中の希土類元素（Y、Gd、Ce）分析方法の ISO 規格原案作成の検討。[希土類元素分析方法標準化委員会]
- ・ステンレス協会と連携し、腐食関連の ISO を扱う ISO/TC156/WG2・WG6 への対応。

実施内容③：標準試験版の普及

- ・従来のダイカスト試験板に加え圧延板材の普及を検討。
- ・日本分析化学会と連携し、認証標準物質の作成。

実施内容④：燃焼試験依頼試験の実施

- ・JIS H 0544「マグネシウム合金の燃焼試験方法」に基づく、燃焼試験の依頼試験の実施。

事業計画5. マグネシウムの普及に関する活動

実施内容①：国内外の各種情報の把握と発信

- ・各種統計調査結果、製品開発情報、新研究情報等の収集及び整備。

実施内容②：各種講演会・講習会の開催と内容の充実

- ・基礎から実用例までの技術講演会、安全作業に関する講習会等の実施。

実施内容③：各種展示会への出展

- ・高機能金属展への出展（5月インテックス大阪、12月幕張メッセ）。

実施内容④：各地域で実施されているマグネシウムに関する研究調査に協力

- ・熊本マグネ事業推進会、先端マグネシウム合金研究会、ひろしまマグネシウム利用研究会、高性能 Mg 合金創成加工研究会、(一社)軽金属学会、他

実施内容⑤：非鉄金属関連団体で運営する人材育成ホームページ「メタルワンダーアベニュー」の維持

事業計画6. 海外との交流に関する活動

実施内容①：国際マグネシウム協会(IMA)、中国マグネシウム協会（CMA）との交流・共同事業の推進

- ・IMA、CMA からの海外情報入手及び発信。
- ・CMA との日中交流会の実施（7月・日本開催（福岡・熊本））。

実施内容②：国際会議への参加

- ・IMA 国際会議（5月・ブダペスト）等の国際会議に参加し、海外との交流を図る。

実施内容③：海外実態調査の実施

- ・欧米、東アジアにおける実態調査の実施（委託事業などにより調査員の派遣にて実施）。

実施計画7. 表彰奨励

実施内容①：安全作業表彰の実施

実施内容②：日本マグネシウム協会賞の表彰

実施内容③：奨励事業の推進（学生マグネシウムデザインコンテスト、齋藤マグネシウム学生奨学金）

以上

令和元年度一般社団法人日本マグネシウム協会組織図

